茨城県電気工事業工業組合　青年部会

2015年度事業計画

勇猛精進

自らの信念に基づいて困難をものともせず、
懸命に努力すること。
勇猛は物事にひるまず勇ましい様。
精進は一生懸命に努力すること

茨城県電気工事業工業組合

事業計画

- 時代に合った定款の検証
- 情報の発信・共有
- 県内外会員相互の親睦
- 他団体との連携
- 若手人材の育成
- 会員のスキルアップ
- 新入会員の拡大・育成
- 部会の運営・管理

組織作り

　活動する中で会員の参加率の低さをとても感じます。会員一人ひとりが関心を持つことが大切ですが、まずは適時的確な情報の発信をすることで組織力を高めます。組織力を高めていく上で会員が一堂に集まり団結力を高めるとともに、改めて強い意志・関心を持って、節目を過ごすことを大切にしたい。そして、会員同士の情報交換と親睦を深めることでより強い絆を持ち組織力を高めたい。

組織力の向上

　部会の中だけで活動していては井の中の蛙ではないが、少ない成長しかえられません。私たちは沢山の他団体と連携する場があるのですから、積極的に参加できる環境を提供することで、一人ひとりの成長を目指します。震災後、本当に必要なものが何だったのか、改めて考え業界へ寄与していきたい。

時代に合った定款の検証

　ここ数年で定款について少しではありますが、議論し改定してきました。ですが、約３０年前に作成した現状の定款は、今の組織を鑑みた中、時代にあっているのだろうか。強い組織を作るのであれば、しっかりと検証し、時代に合ったものにするべく、改定しなければならない。

育成事業

　通年研修事業として様々な研修を行ってきましたが、対象を部会メンバーにとどめることなくグローバルな育成をしていきます。それは、未来を見据えたものや、改めて勉強しなおさなくてはならない事、さらには原点に戻り会員一人ひとりのスキルアップも大切にしなくてはならない。時代や会員に合った研修事業を行うことでの会員育成を目指します。

会員の減少

　今、部会にとって会員の減少が大きな課題としてあります。このままで行くと解散、統合など明るい部会は見えません。見せかけの会員維持の現状では色々な面でのひずみが出てきます。本年は目で解る目標を立てる事での会員拡大に力を入れるとともに、目標に対する達成感を学習いたします。同じ志を持って入会していただいた新入部員には他人事や釣った魚に餌をやらないではなく新入部会員としての教育をすることで、これからの部会へとつないでいきたい。

情報共有

　いつの年代も部会が見えないなど意見を頂きます。しかし、これだけＩＴが発達した時代の中で、ＨＰやＳＮＳなど情報の伝達や管理・発信などいろいろあるのに対し、我々は、うまく使いこなしていないだけで他人事にしているのではないでしょうか。適時的確に一般ホロアー会員にまで情報を伝達することでの関心を高めたいと思う。

組織運営

　無関心が一番の敵であるなら私たちは何をしなければならないのだろう。
まず、そこを話し合う為に対内の運営、リーダーとしての組織運営をしっかり行わなければならない。
それと同時に自己満足におぼれないよう、対外にも目を向けしっかりとコミットし、情報の共有をしなければならない。
そしてゆるぎない組織を作るためにも対外に対してわが茨城青年部会を代表として出向していく会員に対しバックアップしなければならない。

最後に

　我々青年部会は今、目まぐるしく変わりゆく時代の変化に伴いながら成長をしなければならない。それは一人ひとりが成長することで大きなものになり強い組織を作り業界だけでなく青年世代のリーディングとなりやがてこの電気業界、さらには次世代のリーダーとなるべく青年部会を発展させていきます。

第１２代部会長　鈴木　真一